

宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

<https://lora-saga.jp>

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学理工学部内

No. 94

平成30 (2018) 年 12月18日

国際低平地研究協会 Council Meeting の開催

9月25日(火)にベトナムのハノイにあるチュイロイ大学において、国際低平地研究協会の運営会議が開催され、会議にはマダフ IALT 会長を始めとして7人の委員が出席しました。会議では定例の議題として決算、予算案の承認、英文論文誌の LTI (Lowland Technology International) の編集方針について議論が行われました。

LTI は現在、年に4回発行されており、論文の指標とされているインパクトファクターが0.242という評価を受けるまでに発展しました。今後も更に活動を発展させるためにも、インドネシアのハサヌディン大学が編集協力として参加することになりました。

また、IALT の運営方針が重要議題として議論されました。国際情勢の早い移り変わりへ対応するために、運営体制を見直すことが決まりました。具体的な内容については改めて報告することになりますが、国際シンポジウムや佐賀大学で実施されている国際協働教育との連携を更に深め、価値のある論文を出版できるような運営方針になることが期待されます。



会議の様子

低平地技術に関する国際シンポジウム ISLT 2018 の開催

9月26日(水)～28日(金)に、ベトナム・ハノイにあるチュイロイ大学において、第11回目となる低平地技術に関する国際シンポジウム (ISLT2018: International Symposium on Lowland Technology 2018) が開催されました。今回の ISLT には189編の論文が投稿され、地盤・地盤環境工学、水環境、沿岸・河岸、都市計画の4分野のセッションで発表されました。発表会は1日目、2日目に行われ、キーノートレクチャーや各セッション会場では活発な意見交換がみられました。3日目はテクニカルツアーとして沿岸部にある Xuan Thuy 国立公園を訪れました。同地は低平地の沿岸部に位置しており、佐賀市東与賀干潟と同様にラムサール条約湿地として登録されています。また、マングローブの保全地区として種々の研究が行われている場所でもあります。フィールドは佐賀低平地との共通点が多く、低平地に関する研究推進に適していました。

ISLT 実行に際して、研究会の皆様を始め、ベトナムにおける研究機関、民間企業、ジャパンホームシールド(株)、SOMETHING VIETNAM から多くの支援を受けましたことを感謝申し上げます。



オープニングセレモニーの様子

低平地研究に関する豆知識 -その27-

「低平地における栄養塩の供給源」

有明海沿岸部での冬期のノリ養殖は、海水中の窒素やリンを行った栄養塩を摂取することで成長しますが、養殖最盛期には栄養塩、特に窒素不足が発生します。また、栄養塩の供給源となる筑後川や嘉瀬川・六角川から遠い白石町、鹿島市沖では慢性的な栄養塩不足が発生しています。これは、降水量が少なく陸域からの栄養塩の流入が小さい上に、ノリ養殖による栄養塩要求量が極めて大きくなるからです。自然的な栄養塩源である河川や、有明海の最大の特徴でもあるガタ土に加え、近年では佐賀市下水浄化センターからも冬期に限った季節運転によって栄養塩が供給されています。また、昨年はダムの緊急放流もされました。更に低平地にはクリーク網の水もあります。クリークの底泥には栄養塩が良く蓄積されているので、クリーク水と底泥を組合せた新しい水利用が行えられれば、冬期の栄養塩不足解消の一助となることが期待されます。

(三島悠一郎：佐賀大学理工学部講師)

環境専門部会 講演会の開催

10月1日(月)に環境専門部会の「世界の低平地」シリーズの第4回講演会「気候変動によるナイル川水系及びエジプトデルタの水問題」を開催し、26名が参加されました。京都大学防災研究所附属水資源環境研究センター准教授である Dr. Sameh Ahmed Kantoush をお招きしました。ナイル川河口域の低平地における水資源及び水環境の状況、そして気候変動の影響に対する水害対策や総合水資源管理に関する日本・エジプト共同プロジェクト (JE-HydroNet) をご紹介いただきました。エジプトの水資源、農業用水・農地、沿岸海域は気候変動の影響が懸念されています。また、エジプトの水問題の対策としてダム・河川管理に土砂及び堆積物の管理が必要とされ、日本の堆積物管理をエジプトで活用する計画も進めているそうです。質疑では参加者によるナイル川の水問題に関する議論及び意見交換がなされました。来年も「世界の低平地」講演会のご参加をお待ちしております。



Dr. Sameh Ahmed
Kantoush

お知らせ

ウェブページの URL が変わりました。リニューアルに際して、デザインを見やすくし、活動案内や報告などが発信されます。1月および2月に歴史・文化、都市空間両専門部会の活動が予定されています。詳細は、決定次第ウェブページでお知らせいたします。

新 URL : <https://lora-saga.jp>

会員 特別会員

動向

(公財) 佐賀県建設技術支援機構

支援機構では①産学官の技術情報交流、②新技術導入の促進、③建設業界の魅力発信を目的として「SAGA 建設技術フェア」を毎年開催しています。今年度は佐賀県・王丸義明県土整備部副部長及び九州大学・安福規之教授による特別講演並びに県内女性技術者による講演などを行いました。ドローンや ICT を活用した技術・製品などの展示、最新技術を体験できる 50 の技術ブースを設け、来場者は 2 日間で延べ 2,000 名を超えました。来年も 6 月に開催予定ですので皆様のご来場をお待ちしております。



L T I ジャーナル Vol. 20、No. 2 の発行

Authors	Title
N. Pattanajan	Building with the on-site manufacturing process
N. Chaisaard	LEED building project management in Thailand
P. Pattiyatane	Preparation of anionic-exchange membranes composites for acid recovery from acidic wastewater
A. Boonpoke	Environmental impact evaluation of road pavements using life cycle assessment tool
D. Keochanh	Fate and transport of paraquat dichloride in corn and rubber plantation soils
W. Sinlapathorn	Comparison of fate and transport of atrazine in corn and rubber plantation soils
M. W. Bo, A. Arulrajah	Research oriented ground improvement projects in Changi, Singapore
A. Arulrajah	Laboratory evaluation of biosolids stabilized with demolition wastes as an embankment fill material
C. Ridtirud	Load test of pre-cast geopolymer concrete slabs
T.N. Pham	Weakly singular BIEM for analysis of cracks embedded in symmetric elastic whole space
T. Imjai	Strengthening of RC members using post-tensioned metal straps: state of the research
P. Cheonklang	Prioritizing rural roads projects in north-eastern Thailand by Analytical Hierarchy Process (AHP)
J. Nirunrat	Raw water reserve and conveyance capacity of West Water Canal of Metropolitan Waterworks Authority
K. Boonrawd	Assessing the climate change impact on floodplain inundation map in the Chiang Mai municipality, upper Ping river basin of Thailand
P. Kosa and T. Sukwimolseree	Assessment of water balance using SWAT - A case study of the Nakhon Ratchasima Province
C. Ketsiri	Submerged breakwaters design development based on artificial oyster reef
W. Teeparaksa	Uplift of very sensitive soft clay due to pile driving

※第一著者のみを記載しています。

編集 (三島、後藤、武富)

事務局 ☎ : lora@lora-saga.jp

TEL/FAX : 0952-28-8712